



明けましておめでとうございます。充実した冬休みを過ごせましたか？一方南アでは夏休みが終わり新学期（1学期）が始まりました。今回も前回に引き続き、驚いたこと（学校編Part2）を紹介しします。

驚いたこと6

マグネット？



何かの部品に使われていた巨大なマグネット。重いし大きい。使いづらくないかと聞くと、「大丈夫。叩いて割れば小さくなるから！」とのこと。確かに！しかし、やはり日本の100円ショップのマグネットのありがたみを感じます。

驚いたこと7

そのまま



教室の窓ガラスが割れています。でも修理されることはありません。雨が降ると窓側の席の児童の机、ノートがびしょびしょに…。席を前にずらしたり、いろいろな紙で抑えたりと、窓側に座る場合は工夫が必要です。

驚いたこと8

タイミング



みかんきたー！！

お手伝いさんがみかんを配っています。なぜか休み時間ではなく授業中に配ります。そのため、子どもたちの集中の方向が授業からみかんへと移り変わります。その後はみかんをコロコロさせたり、ツンツンしたり、その調子で落としたりとクラスがざわつきます。やっと静かになった頃には授業の残り時間5分なんてことも…。

驚いたこと9

青空授業



こんなところに黒板が！あるクラスが机と椅子を持ってきて青空の下で授業をしています。なんだかいいな～。初めはそう思いました。しかしわずかな日陰の中に我先に入ろうと、陰の取り合い。児童の額ににじむ汗。舞う砂埃。ぐらつく机…。やはり授業は教室でするのがよさそうです。

驚いたこと10

ごちゃごちゃ



これは児童の机の様子です。無理もありません。引き出しがないのです。全員のノートや教科書は教室の後ろで保管されているため、授業ごとにそれらを集めたり配ったりします。全員分が一度にそろえることはなく、自分のがないという子がいたり、後ろに探しに行く子がいたり、授業を始めるまでに10分はかかります。

このように思うようにいかないことも多いです。でもそれがアフリカ。次なる作戦を！！